

## 令和6年度第3回江南市子ども・子育て会議 会議録

会議名：令和6年度第3回江南市子ども・子育て会議

開催日時：令和6年11月20日（水） 午前10時00分から午前10時50分

場所：防災センター2階 防災セミナー室

委員：出席委員8人

岡田 和明（子ども・子育て支援に関し学識経験のある者）

杳名 珠子（その他市長が必要と認める者）

石川 勇男（関係団体の代表者）

河合 荘太郎（関係団体の代表者）

白川 裕羽（公募により選定された者）

武田 裕美（関係団体の代表者）

永田 裕美子（関係団体の代表者）

野呂 美鈴（関係団体の代表者）

事務局：坪内 俊宣（健康こども部長）

間宮 徹（こども未来課長）

村田 志穂（こども未来課指導保育士）

大脇 宏祐（こども未来課副主幹）

高田 昌治（子育て支援課副主幹）

加藤 あかね（子育て支援課副主幹）

中村 由香（子育て支援センター所長）

葛谷 美智子（健康づくり課副主幹）

山田 勇文（こども未来課主任）

丹羽 憲司（こども未来課主任）

柘植 真緒（こども未来課主事）

傍聴人数：0人

## 議題

### (1)第3期江南市子ども・子育て支援事業計画（案）について

ア. 前回会議による修正点

イ. 第4章（施策の展開）

ウ. 第5章・第6章（教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策・計画の推進）

**資料1** 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画（案）

### (2)パブリックコメントの実施について

**資料2** 「第3期江南市子ども・子育て支援事業計画（案）」に関する意見募集（パブリックコメント）の実施について

## 会長あいさつ

### 議題1 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画（案）について

ア. 前回会議による修正点

事務局説明（資料1）

事務局 資料1、32ページをお願いします。

第3章 計画の体系の部分になります。基本目標2を「困難を有する子どもとその家族の支援」としておりましたが、「困難を有する」という表現が少し重いのではないかというご意見をいただいております。「困難を有する」という表現については、こども家庭庁のHP内の、こども・若者支援の箇所にございしましたが、再度検討し、こども大綱やあいちはぐみんプラン 2020-2024 に使用されておりました、「困難を抱える」という表現に修正いたしました。

また、基本目標2の施策の方向性（1）を「子どもの貧困・ひとり親への支援」としておりましたが、こちらにヤングケアラーを追加しました。

## 質疑

会長 委員からのご指摘による修正でしたがご意見はありますか。

委員 ありません。

## イ. 第4章（施策の展開）

### 事務局説明（資料1）

#### 質疑

委員 46 ページの仕事と子育ての両立の推進について、記載の事業は素晴らしいと思いましたが、男性支援の面でいうと現世代では両立が当たり前で推進から支援へ移行していると言われていています。その中で産後うつというものも男女で割合が同じになってきていることから、38 ページの相談しやすい窓口等が現状の体制だと思いますが、産後の保健分野での男性支援の利用状況や今後の活用についてお聞きしたいです。

事務局 妊娠中に両親学級を平日6回開催しています。令和5年度の利用実績（参加人数）としましては、母親が58人、父親が25人でした。また、平日に来られない方もみえますので、休日にも10回開催しており、母親の参加人数は110人、父親は104人でした。

産後うつの子予防対策としましては、全世帯に対して実施している赤ちゃん訪問時の父親の同席は少ないのが現状ですが、父親に対する産後の支援も必要だと認識しております。母親を対象とした産後リフレッシュ教室を月1回開催しておりましたが、令和6年度からは父親も参加できるよう対象枠を広げております。父親の参加は全体の半数も満たない状況となっています。

委員 46 ページの仕事と子育ての両立の推進について、記載されている取組みがすべて子育ての支援だと思います。仕事に対する調整ができない限り、男性が家庭に参加するのは難しいと思います。前回も質問させていただき、なかなか企業へのアプローチは難しいという話がありましたが、男女問わず行政からの支援等何かお考えがあればお聞きしたいです。

事務局 委員より度々、企業に対するアプローチに関するご質問をいただいております。毎回同じようなご回答になってしまっていますが、やはり都道府県や大都市では自治体から企業に向けてアプローチや財政的な支援をしているという話は聞いておりますが、江南市におきましては中小企業向けになります。また支援等の働きかけは出来ていないのが現状です。これからますます少子化等の問題が顕在化してくると思われまますので、働きかけができるよう検討していきたいと思っております。

委員 まず一組織として江南市役所が実施していただくとモデルケースになると思うので、ポジティブな情報が出てくるのを楽しみにしています。

委員 施策の方向性にヤングケアラーが追加されたと説明がありましたが、人数や状況を把握していらっしゃいましたらお聞きしたいです。

事務局 江南市はまだ実態把握が出来ておりません。今年、国から実施について示されてきたところであるため、来年度からの実施を見据え、現在は検討を進めているところです。

## ウ. 第5章・第6章（教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策・計画の推進）

### 事務局説明（資料1）

#### 質疑

委員 新規事業について、「\*」が付いている事業の他市町の状況を教えてください。やはり法改正から時間が経っていないため、準備できていないところが多いのでしょうか。

事務局 子育て世帯訪問支援事業につきましては、実施している市町村は大分増えてきている状況です。児童育成支援拠点事業と親子関係形成支援事業につきましては、まだ半数も実施していない状況で、徐々に実施しているところが増えつつあるという状況です。

委員 説明にもありましたが、体制を整えばその都度計画を見直すということによろしかったでしょうか。

事務局 基本的に5年間の計画の中間年度での見直しを想定していますが、中間年度に限らず、計画が実態に即した形になるよう見直しを検討していきます。

委員 71 ページの子育て世帯訪問支援事業について、「訪問支援員が訪問し」とありますが、どのような資格を持った方なのか教えていただきたいです。

事務局 江南市ではまだ正式に決定していませんが、こども家庭庁の実施要綱には訪問支援員の要件として、研修を修了した者とされており、特に資格についての記載はありませんので、他市町の状況をみながら検討していきたいと考えております。

委員 72 ページの児童育成支援拠点事業について、「家庭や学校に居場所のない子ども」とありますが、どのように分かるものなのでしょう

か。

事務局 児童育成支援拠点事業の中で考えている、「家庭や学校に居場所のない子ども」に関しましては、例えば、こども家庭センターに入るとご本人やご家族、学校や保育園、その他色々な事業所からの相談の中で、居場所が必要だといった方にお声掛けをするようなイメージを持っております。

委員 新規事業について、量的な評価はされていくかと思いますが、被支援者が支援を受けた前後の質的な評価はされるのかお聞きしたいです。

事務局 子育て世帯訪問支援事業につきましては、ヘルパーを入れるにあたって実施期間等の計画を立て、計画通りいかなければもう少し期間を延ばすといった形での実施を想定しているため、そのような部分で評価していくものになります。児童育成支援拠点事業と親子関係形成支援事業につきましては、まだ検討段階に入っておりません。

会長 より良い計画になるよう、せっかくの機会ですので各委員さんにご意見等いただけたらと思います。

委員 第4章の事業掲載についても非常に充実した内容になっていますが、担当課が多岐にわたるため、第6章のPDCAサイクルにもあるように連携が重要になってくると思いますので、縦割りにならないよう実効性があるようにしっかりとやっていただきたいと思えます。

委員 以前は民生委員児童委員として、赤ちゃん訪問をしていましたが、数年前から活動の中からなくなってしまいました。計画にあるように新規事業が増えて、母親等の助けをしていただけることは有難いことだなど思いましたので、ぜひ進めていただきたいです。

委員 病児保育事業について、令和8年度に1カ所増設とありますが、事業者はもう決まっているという認識でよろしいでしょうか。

事務局 旧図書館跡地に建設予定のあずま保育園と中央保育園の統合園の運営事業者が、保育園と病児保育施設を併設する計画をしておりますので、保育園と病児保育施設は同じ事業者が一体的に運営を行っていくということで決定しております。

委員 他の委員からもありましたが、民生委員児童委員の子どもに関わる活動が極端に少なくなってきたので、ぜひお声掛けいただければ色々な活動ができますのでよろしく願いいたします。

- 委員 第6章について、「家庭、地域、事業所、行政がそれぞれの役割のもとに連携し」と書いてありますが、行政は「総合的に施策を推進します」と書いてあり、実際に行政の具体的な取組み内容があまり見えてこないように思います。さらに取組みを強めていく、連携を深めていくための手立てが目標の中に入っていると、よりこの計画自体が生きてくるのかなと思います。どのように働きかけをしていくのかということがこれからの課題なのかなと思います。
- また、今共働きが非常に増えている中で共働き家庭を支えていく上で一番身近な存在が祖父母かと思います。子育てに参加している祖父母の立場というものは記載がありませんが、もっと子育てに関する関わる人が増えれば、行政の負担も減ると思います。
- 委員 ひとり親だったり、子どもの発達に不安がある親が周りにいるので、不安の解消やフォローをしていただける体制が充実していくと嬉しいです。
- 委員 新規事業が素晴らしい内容だと思いましたので、良いものにしてほしいです。また、第6章の部分で、家庭に対して地域も事業所も連携や活躍があまりされていないように感じますので、そちらの方にもアプローチをしていただけると有難いです。

## 議題2 パブリックコメントの実施について

事務局説明（資料2）

質疑

- 委員 説明の中でいくつか計画のパブコメが重なっているとありましたが、いくつぐらい重なっていますか。
- 事務局 全部で5つほど計画があり、1つは少し早く始まりますが、他は全部12月16日から統一して実施していきます。